

平成 30年



新年あけまして おめでとうございます

市民の皆様にはつつがなく新年を迎えることとお慶び申し上げます。また、平素から市政各般におきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、超大型台風の上陸や、記録的豪雨が頻繁に発生し、全国的に甚大な被害をおよぼすなど、自然災害の恐ろしさを再認識させられる一年となりました。

そのような中、ロンドンで行われた世界陸上400mリレーにおいて日本初の銅メダル獲得や、将棋界では藤井聡太四段が最年少でプロ棋士となり、デビューから公式戦29連勝という歴代連勝記録を30年ぶりに更新したことなど、次代を担う日本人の活躍に注目が集まりました。

本市におきましては、昨年4月より、幼児教育・保育の無償化を実施いたしました。また、コミュニティバス「愛のみのり号」の運行を開始するなど、「教育・子育て・福祉」のレベルアップにつながる施策の展開に取り組んでおります。

さて、昨今の日本経済情勢は、雇用・所得環境の改善が続く中で、国の各種経済政策などの効果もあり、緩やかな回復基調が続いております。

しかしながら、その効果は地方にまで十分に浸透しているとは言い難いのが現状でございます。

市民の皆様には、希望に満ちた晴れやかな新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素は市議会活動に對しまして、温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、皇室では、眞子様のご婚約発表、相撲界では、稀勢の里が19年ぶりに日本出身横綱に昇進、将棋界では、羽生善治棋聖が、将棋界の7タイトル全てで称号を獲得する「永世七冠」を史上初めて達成、陸上競技では、桐生祥秀選手が100メートルで日本人初の9秒台を記録しました。

また、ほほえましい話題として、上野動物園でパンダのシャンシャンが誕生するなど日本中に興奮と感動・元気を与えてくれました。

その反面、3月には栃木県那須町のスキー場で高校生らが雪崩に巻き込まれ、7月には福岡県と大分県を中心とする九州北部で発生した集中豪雨、9月、10月の台風被害など、近年頻発する異常気象による自然災害はいつどこで起こるかわからないものであり、日頃の備えが大切であることを再認識させられました。

そして、本市に目を向けますと、4月から実施を始めた「幼児教育・保

本市の財政状況におきましても、一般会計の実質収支は黒字であるものの、扶助費を始めとする義務的経費の割合は依然として大きく、財政構造は硬直状態にあります。

このような中、昨年2月に策定した「改訂版」もりぐち改革ビジョン(案)に基づき、事業効果が薄れたものなどの見直しをはじめ、限られた財源の「選択と集中」を行うとともに無駄を省くなど行財政改革の成果を市民サービスに充実に還元してまいり所存でございます。

本市といたしましては、すべての方が生涯にわたり活躍できる、安全・安心の定住のまちの実現に向け、鋭意取り組んでまいりますので、皆様には、より一層の市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年が皆様にとりまして、幸多く実りのある一年となりますよう、祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

育の無償化をはじめ、8月にはコミュニティバスの試行運行、庁舎地下1階に中部エリアコミュニティセンターが開館されるなど本市の魅力を高め、発信し、市民生活の向上とさらなる市政の発展に向け、一步一歩着実に事業を実施しているところでです。

市議会といたしましても、それらの諸課題をしっかりと見極め、議決機関として、その役割と責任の重さを自覚し、より健康的で豊かな住みよいまちづくりに向けて、鋭意取り組んでまいり所存でありますので、これからも力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今年は成年でございます。犬は安産で生命力豊かな象徴とされており。

どうか本年が市民の皆様誰もが心豊かに幸せを実感できる一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

「誰もが心豊かに
幸せを実感できる一年に」

守口市議会議員 澤井 良一

「安全・安心の
定住のまちの実現へ」

守口市長 西端 勝樹

